

BRIDGE KIDS PROGRAMS 2024

4 月度 実行委員会 議事録

● APCC ビジョン ●

わたしたち APCC メンバーは、
OMOIYARI の心をもった地球市民となり
子どもたちの笑顔あふれる世界を実現します。

日時：2024 年 4 月 25 日（木）19:00～20:30

場所：ふくふくプラザ 2 階 201 会議室

議長：岩木副実行委員長

総括：児玉副実行委員長

1. 開会
2. ビジョンの唱和
3. 議事録作成人の指名
4. 議事次第ならびに配布資料の確認
5. 出席者確認
6. 実行委員長 挨拶

<本日の資料>



<BKP2024 カレンダー>



山下：まず、冒頭に紹介したいが、事務局の研修をしていただいております、去年の 4 月にも参加をいただいた、こじま先生に来ていただいている。元 ANA のグランドホステスであり、物事がうまく提案や研修をしていただいている。おかげで事務局からもすごく楽しく明るく業務ができるようになったと、好評の先生である。

今日何を話そうかと考えていたが、先日、台湾の花蓮というところで、1 日 100 回を超える震度 3、4 の地震が続いている。それに対して、日本から続々と援助が届いている話があった。同様に 1 月能登地震、その前であれば、自分の故郷の熊本地震があった際に、政府より早く台湾が援助してくれたというのは記憶に新しい。なぜ援助してくれるのか。自分の主観ではあるが、台湾の方達は、日本が好きなのもあるが、台湾の地震に関していえば、かなり頻繁に起こっている。その度にかなり多くの方が、日本から援助している。台湾のことを好きな日本人も多い。こちらも好きだから向こうも好きになってくれると、相互に思いあう関係ができれば、イスラエルやイランなどの戦争もなくなるのでは。みなさんがやっている、この活動も間違いなく、その一助になると確信している。来るのは、70 億の内の 200 人かもしれないが、福岡を好きになって国に戻って、ファンになってくれる、トラブルがあったとしてもうまくまとめてくれるかもしれない。スケールの大きい話になるかもしれないが、世界平和の一助を担う活動として、我々 APCC とは、存在していると思っている。今度の 7 月に向けて、今日も議案が多いが、そういうことも考えた上で進めていただければと思う。

7. 協議事項

(1) 【スクールビジット部会】スクールビジット

浅利：議案読み上げ

熊手：予算読み上げ

(質問)

森田：ボランティア参加必須ではなく、少人数でも運営できるような工夫を行うとあるが、1 時間内で 20 校分、29 人のシャペロンさんに代表者のみで当日の流れや詳細部分をきちんと説明することができるのか。シャペロン説明会をするのは、シャペロンさんに当日の流れをしっかりともらい、子ども達へのフォローをしてもらう。各学校担当ボランティアさんとの顔合わせも兼ねていた。事前に顔合わせをしておけば当日の人に聞いたらいいとわかるし、ボランティアさんとも言葉がどの程度通じるかもわかるので、安心感もあたえることができる。シャペロン、ボランティアと不安に思う人が出てくるのではないかと。

浅利：共通している内容は全体で説明し、各学校ごとのスケジュールは該当校のシャペロンへ資料配布し対応する。
また、学校のリーダーが 会いたいと言われる方については希望制にしてぜひ行ってもらいたいと考えている。

森田：すぐに内容を理解するシャペロンもいればそうではない人もいます。要望として、より細かに詳細をかいてもらえるといいのではないかと。また、シャペロン側からの質問やリクエスト(パフォーマンス時)もあつたりする。

脇坂：去年参加したが、シャペロンから質問がでてる。「パフォーマンスの時に線を引きたい」など細かいリクエストなども、ちゃんとぬきとって説明していただきたい。

浅利：情報共有に関してはしっかり作りこんでいきたい。

岩田：ホストファミリーが時間内に来れなかった場合、ホストファミリーリーダーが預かるとなっているが、スクールビジットのリーダーは残らないのか。
APCC という組織でやっているの、時間すぎる場合学校側への対応はきちんとしたほうがよいのではないかと。
ホストファミリー任せではなく、スクールビジットのボランティアさんが最後まで残って対応すべきではないかと。

大上：ファミリー部会(大上部会長)より回答

基本的にグループ揃っての対面式を行うようお願いしている。もし遅刻する場合は、学校側の時間を優先し、退室時間を守ってもらった上で、グループのリーダーに一時的に預かってもらう。または、リーダーが間に合わない場合はシャペロンが預かる。このどちらかで対応した上で、こども大使は小学校から移動し、別場所で待機する。基本的に遅刻はしない、連絡はすぐにするのが大前提となっているが、もし遅刻などある場合は各グループで対応してもらうようにする。それでも対応できないとなった場合は、ファミリー部会へ連絡をする。

篠原：ボランティアに記録用の写真を撮ってもらい、ボラプロへの撮影依頼は特にないということによいか。写真の撮り方のルール、小学校での子どもの写真の撮り方が厳しいので注意が必要。
シャペロン側が子ども達との写真をとるのは大丈夫なのか。

浅利：写真の撮り方に関しては学校側と連携をとって周知していきたい。

大谷：写真を撮影する前に先生方にも確認をしてもらいたいが、APCC の記録用として事前に学校には許可をとっているの、ボランティアに自由に撮影してもらって大丈夫。ただし、個人の SNS 等で利用するのは不可とする。APCC 側で使用する場合は学校側へ連絡し、確認して使用する。

森田：ボランティアが撮る分はいいと思うが シャペロンが自分の国に報告のために写真を撮ることが多いたに SNS にアップしていることがあるので、SNS に関しては、注意してほしい。

堀：シャペロン MT の時に、ピース大使に関しては注意、事務局の方からきちんと伝えようと思っている。

前田：パフォーマンス時の衣装の準備について、小さな袋とあるが袋の準備はどうするのか。パッキング時に部屋別の担当者に指示してもらったり、衣装をすぐ取り出せるようにと伝えることは可能。荷物が混在しないように、袋に国名を入れたり、すずらんテープをつけるなど、対策も必要ではないかと。
また、バス添乗のマニュアルに嘔吐物処理セットの確認とあるが、処理の仕方など、バス添乗に対する説明は、していただけないか。オリエン部会では、研修の時に館内で、嘔吐があった場合の研修はするが、バス車内であった場合の説明が必要。高校生は中々難しいと思うのでお願いしたい。
また、給食の際の手洗いについては、声かけをするのか。クラスに入ったらクラスにおまかせなのか。

浅利：衣装袋は、例えば、大きな荷物の中に小さな袋で入れておくなど、その工夫も含めて、部会で検討する。
嘔吐物の処理については、医療部会にも相談している。添乗の説明会の際にご協力をいただきたいと思います。
給食の手洗いに関しては、学校のルールに従う形でいいのではと思っています。

前田：オリエンでは、食事前には、必ず手洗いを徹底している。この前も医療対策室に聞いたが、流行ものを防ぐには、一番手洗いがよいと聞いた。こども達は元気な状態で送り出せると思うが、医療の対策としては、特にはしないということか。

浅利：食事の手洗いは、学校で取り組んでいるはずだと思っているので、部会として手洗いを特段させるという考えはなかった。学校できちんと安全対策はしていると思うので、あくまで学校のルールに乗っ取ってさせようと思っている。

前田：学校によっては、そのままほったらかしの場合もあるので、ボランティアさんから声かけをしてもえるといいかと思う。

浅利：衛生面も含めて見守っていただけるように指示していきたい。

岩田：バス車内の嘔吐に関しては、添乗のボランティアは処理をしない方が良いのではないかと。高校生のボランティアでは対応が難しいのではないかと。できる、できないの問題もあるが、車内を動けない状態もあり得る。バス添乗ボランティアがペットシートをかぶせるまで対応し医療部会の有資格者が片付ける方が良いのでは。

バス添乗者が片づけるという以外の方法を考えたほうがよいのではないかと。入館に関しては、基本的にボランティアは処理しない。

山下：この事に関しては、医療部会と相談する。

木村：おおむね問題ないかと思う。体調不良のボランティアがいた場合、様子を見て体調が回復すればボランティア活動に戻るとするのはリスクがある。7.5 未満でも、体調不良になった時点で帰宅してもらう方が安全。熱中症対策として、水 2 本ずつを渡すのはいいが、塩分摂取が必要。給食を食べれば、胃の中には塩分があるので、ある程度防げるのではと思う。

浅利：ボランティアの体調については改めさせていただく。

(2)【イベント部会】 We are the BRIDGE フェスティバル 2024

田中：議案読み上げ

岡本：予算読み上げ

大上：他部会との連携に関して、ファミリー部会の動きだが、事前にホストファミリーには、動線などは周知しておくということでしょうか。

交流ブースはありがたい。ホストフレンドの対象はどこまで設定するのか、ホストフレンドの兄弟児はどこまで対象を設定しているのか教えてほしい。

田中：目的は、ホストフレンドもそうだが、福岡県のこども達も入ってもらえたら大きな意味で考えている。ららぽーとに来た一般のこども達も入ってもらえたらと思っているし兄弟児も考えている。ただし、こどもだけで、大人は周りで見守ってもらうという形で考えている。

岡本：医療について補足だが、前回、執行部の際に医務室の場所の共有をしてほしいという話があったが、確認したところ、外部に共有ができないということなので、当日案内となる。医療対策室の中で、当日入っていただく方は、部会長と一緒に場所を確認していただくことになる。

前田：昨年からの変更点で、イスラム教徒や肌を見せない子の団用の着替える場所は準備しないのか。

田中：去年準備をしていたが、ヒアリングの結果必要ないとの回答があった。また、4月30日のシャペロンミーティングでも、宗教部屋の準備をしていない旨を周知・説明するため問題ない。

前田：もし、当日別の部屋を用意してほしいといった事になった場合はどうするか。

田中：ららぽーとの中の会議室を借りているので、その中に扉がある倉庫があるので、その時のために区切れるような形で準備はしておく予定。

前田：当日になってやっぱりという子もいるので、せめてパーティションだけでも用意してもらいたい。

前田：有事の際の動きで、緊急対応の場合について。最近地震も多いので大人数の場所でやる場合には注意が必要。こども達が、ホストファミリーの時にいる時はいいが、こちらでボランティアが引きとって地震がおきた時、点呼なども含めて事前に説明してあげておいた方がよいと思う。

田中：ボランティアが誘導できる形を、シミュレーションしておく。

岩田：当日スケジュールのレイアウトだが、ホストファミリーの席、入れ替えの動線はどうなるか。ダイマニュの時までにわかると思っていればよいか。

田中：待機場所 2 から 1 に入って、そのままフォトブースでホストファミリーも写真を一緒に撮る流れをとっているため、どんどん入れ替えようと考えている。

前田：オリエン部会は、こども達と仲良くなるので、当日行きたいボランティアが多い。迷惑をかけると思うので、客席から見ただけにしてほしいと案内をした方がよいか。

田中：できれば交流してもらいたいと思っているが、大きい箱なので禁止するまではないのではと個人的には思っているが、次回までに検討したい。

岩田：ホストファミリーがピックアップできずに時間がかかってしまうのでは。大きい会場になるほど探すのが大変になるので、他ボランティアを入れると収集がつかなくなるのでは。

田中：去年と一緒に引き渡し券のやりとりがある間は控えてもらう。それが終われば交流という形で考えていた。次回までに検討する。

(3) 【ファミリー部会】ファミリー部会主催 ホームステイプログラム行事（協議②）

大上：今回は2回目なので修正があった部分だけあげていきたい。35ページをご参照ください。5/12研修会は、実行委員長が都合がつかない為、岩木副実行委員長にAPCCIに事業概要説明、ホストファミリーとは何かのレクチャーをもらう。また若干の時間修正が入っている。閉会の挨拶は大上がする。36ページの当日会場案内だが、401～405の小さいホールの部屋をこども達の研修、406～408を大人の研修と設定していたが、先週下見にいったが、大部屋の方がトイレが近かったので、こども達が途中で脱走しないように、大きい部屋の方をこども達の研修、大人の研修を402～405で使用して、401を荷物置き場や控室として使用させてもらおうかと思っている。エレベーターホールに大人が溜まるのではないかと懸念をされていたが、基本的に大人の研修会については、後ろから国ごとに誘導して、大人がこどもの部屋に迎えに行きそのままエレベーターに乗る。その動きを繰り返していくことで、ホールに人を溜めないようにしていこう。そこはホストフレンド研修会とホストファミリー研修会の担当で連携を取りながら行っていく。つどいでは、麻生理事長のメッセージをいただきたいと思っている。国別ミーティングをつどいの前後で行っていたのではないかという意見ももらっている。13時開場、14時オープニングとなっている。この1時間をもし良ければ、国別ミーティングに使っていいですよという風に案内する。16時に終了予定だが、16時30分までの30分も国別ミーティングに使っていただいても構わない。17時までに出てもらうように誘導する。

福松：予算読み上げ。前回、会場設備費を計上していなかったため、今回追加で計上している。また通信費に、落選通知の送料を追加している。事業材料費のフラッグ代も以前計上していたものより既にかかることが分かりましたので、訂正しています。

大上：対面式に関しては、窓口あわせると、ファミリー部会の対面式は2校のみとなりそう。その場合は他の場所に、お手伝いに行けたらと思っている。

(4) 【オリエンテーション部会】オリエンテーションキャンプ（協議②）

前田：参加人数が41団の人数で変更となっている。宿泊研修の資料 プログラムの内容は今決まっている分は書いているので、ご確認をお願いします。

神吉：執行部MTで予算の件で意見をもらった47, 48ページの予算の見直し、赤文字で変更したところを記載している。当初、宿泊研修と、本番で700万の予算を上げていたが、スポットクーラーの見積もりが280万から107万になったため。例年より100万程予算があがっているので、部会でどこか削れるところがないか検討した結果が、予算見直し額。宿泊研修で8万円、本番で42万円減らしている。全体の予算としては、前年からプラス50万円になっている。スポットクーラー以外に氷なども検討したが、氷柱1日3万で合計プラス12万になってしまう。足を冷やすという意見ももらったが、氷を保存する場所がない、不特定多数の子どもが足をつけるのは衛生的にどうなのか、水びたしになるなどのことを考えると現実的ではないという結論に至り、当初の予定通りスポットクーラーを4台設置する。加えて、福岡市議の方がマリンハウスにかけあって大型扇風機と筒形のクーラーを1台かしてくださるという話をいただいている。4台のスポットクーラーとプラスで1台のスポットクーラー、2台の大型扇風機という例年とは違う、少し進化した暑さ対策を出来ればと思っている。

前田：お願いがあります。マリンハウスでお風呂に入る時に浴場が水びたしになった時に、ボランティアがタオルでふいたり、忘れた子達に渡して使えるタオルを、ご家庭にバスタオルやフェイスタオルがあれば協賛いただきたい。部会などがある際に持ってきていただけると助かる。期間中は、他部会にご迷惑をかけることもあるかもしれないが、皆様の協力なしでは出来ないなので、引き続き協力をお願いします。

8. 依頼・報告・確認事項

(1) 【PAプログラム部会】ホストファミリー募集報告

立川：HF募集についての状況 参加のPAが21名が変更 15家庭が受入れ承諾 残り6家庭はAPCCに参加したことがない落選した家庭に優先的に案内して今日現在2家庭が決定。残り4家庭は明日までに返事をいただける。収支に関しては、元ホストファミリーへの資料は2023年度に計上しているので、今年度は決定通知書のみ計上している。

(2) 【ボランティアプロモーション部会】

- ・第1回交流会実施報告
- ・次回のボランティア交流会の開催について
- ・新規ボランティア登録説明会について

加治屋：今現在、63ページの表に記載の人数が増えている。明日第9回の新規ボランティア登録会が19時から行われる。これまでも各部会の部会長や副部会長、リーダーさんに部会のPRをしていただきありがとうございます。あと3回ありますので、ぜひそちらもご参加ご協力をお願いします。

吉川：第1回は部会でも楽しみながら計画をした。想像以上に楽しく出来たのは、各部会から参加いただいて盛り上げてもらったのが大きかった。本当にありがとうございました。

(3) 【チャレンジトリップ部会】

海外派遣終了報告・最終報告会 ご案内

児玉：新聞にも掲載されて感動した。今年も、4団が3月に出国し、4月に無事に全団帰国した。子ども達も笑顔が多く、楽しかった、帰りたくないという声もあったと聞いている。その発表が4月28日報告会があるので、そこまで突き進んでいきたいと思っている。

9. 次回開催日について

日時：2024年 5月 24日（金）

場所：ふくふくプラザ 5F 502会議室

議案提出締切：（執行部）5/10金、（実行委員会）5/22水

10. 事務局より

（ボランティアの心得）

神吉：67 ページに、全ボランティア向けの活動の心得について載せている。特にの利用についてや、オンラインを併用する事での、活動時間について、各部会でも徹底してほしい。各部会で配布してもらい、ボランティアメンバーに周知していただくようお願いします。68 ページから 71 ページに、ミッションプロジェクト（現：チャレンジトリップ）で 10 年前にマレーシアに行った子達の生地。当時同行した西日本新聞の記者がそれぞれ追ってくれていた。実際に団員で参加した子が今成長して活躍しているという記事になっている。

山本：この 4 年間で産休育休を 2 回いただいていたので、実行委員会に参加するのは久しぶり。対面で皆さんと一緒にできるのが嬉しい。これから皆さんと一緒に事業が出来るのを楽しみにしているので、よろしく願います。

田中：去年の 9 月から復帰して、夜の会議には参加出来ていなかったが、4 月から参加させていただこうと思っている。今後ともよろしく願います。

（スマイルサポート）

堀：APCC は色々な所から助成金をいただいているが、皆様方ご寄付をいただけたら嬉しい。裏面に鹿島さんや去年と今年シャペロンとして参加するデボラさんの、APCC の存在意義を感じられる素晴らしいコメントが載っているので、会社やご自宅でおけるところがあったら持って帰って欲しい。

去年からシャペロンミーティングをしていて、シャペロンの役割などを事前に確認して、よりスムーズな運営が出来ることを目的に、今年は 2 回行う予定。2 回目 6 月 21 日（金）は、2 回目から全体のことで事前に伝えておきたいことがあれば、まとめて担当コーディネーターに言っていただければ、ありがたい。

（ホストファミリー）

福松：シャペロンの受け入れ あと残り 7 家庭 引き続き募集している。もし、受入れ教委がある方があれば、ご連絡ください。

小島先生：昨年もお邪魔してすごく刺激を受けた。こんなにもボランティアの皆さんが時間を使って活動しているということがもっと世の中に広まればよいと思う。

11. 総括

児玉：初めての議案を出してもらったイベント部会の皆様、スクールビジット部会の皆様お疲れ様でした。活発なご意見を練りこんでいただければと思う。

新聞を読んですごく感動して、追いかけてくれた記者さんにも感謝している。会社でも事務員さんに見せている。1 個 1 個の事業で見えない部分もあるが、こういう形で改めてみると、自分たちはすごく良いことに参加させてもらっているんだと感じる瞬間だった。そんな仲間が今、ボラプロ部会が新規登録会を頑張ってくれているおかげで、増えてきている。新しく入ってきた人たちが、早く 2024 年のチームの一員となれるように、皆おもしろい心を持って楽しんでいけたらと思っている。

12. 閉会